

飛び立て！新成人

20年間



花澤昭宏さん
(篠本二区)

20歳を迎えた今、私はいまだ将来設計が決まっています。それは、これまでの経験の中でたくさんの事に興味を沸き、一つの事に絞りきれなくなりました。

親元を離れて、今までの2年間、学生としてはもちろん、アルバイト等でもいろいろな体験をしました。中でも家庭教師が一番苦労しています。でも喜びも多く、やりがいもあります。これらを通して得るものは私にとって大きく、大変勉強になっています。これからの学生生活やチャンスを意義あるものにしつつ、本当の自分のやりたいことを見つけて進みたいと考えています。たとえまわり道をしてでも努力していきたいです。そして「必要とされる人間」でありたいと思います。

二十歳を迎えて



石井裕子さん
(西高野)

現在、私は親元を離れ、東京で生活をしています。2年前、上京した頃の頃は、新しい生活や新しい出会いの中で不安になったり戸惑うこともありましたが、今は夢に向かって邁進する毎日です。

20年間を振り返ってみると、様々な思い出が胸をよぎります。私の人生の中で出会い、同じ時間を過ごした友人達は、私にとってかけがえのないものです。漠然とした未来に対する不安や焦りを感じる日もありますが、10年後、20年後の未来の自分に臆することなく、胸を張れるよう自分の行動に責任を持ちたいと思います。また、これからも出会いを大切に、様々な経験を積み重ねながら、自分の可能性を信じ、努力していこうと思います。

20歳の決意

二十歳になって思うこと



實川浩子さん
(辻)

私は、高校を卒業してすぐ、社会人の仲間入りをしました。現在働いて2年目となりますが、社会人になるということは思っていた以上に大変でした。何をすることも一人前として見られ、「責任」と

という言葉がついてきます。たくさん問題にぶつかり、悩み、精神的に辛い日々もありました。けれども、そういう時に親や友達、周りの方々に励まされ、今まで頑張ることができました。これからも「二十歳になったら」というわけではなく、「二十歳になっても」というつもりで、自分の良いところを伸ばしながら頑張っていきたいと思っています。二十歳だからと無理して大人になろうとせず、このままの自分であることが、私にとって一番のことだと思います。

卒業



關祥平さん
(芝崎)

今、こうして二十歳を迎えて思うことは、今まで僕を育ててくれた家族の存在の大きさと、人と人とのつながりの大切さだ。大学生活も残り半分となった今、社会という現実がよりリアルに眼

前に立ちただかっているように感じる。夢や理想だけでは生きていけないだろうことも分かるようになった。将来に対しての漠然としたイメージと焦り。けれど意外に心配はない。進むべき道は数限りなくあるように思えて実は一本道なんだってことを最近感じるようになってきた。二十歳っていうのも一つの卒業だと思おう。熱き十代からの卒業。とにかくがむしゃらに頑張るしかない。共に駆けよう同士よ。